

ひょうごらくのうメモ

3

2020 MAR



らくのうひょうごフェスティバル絵画コンクール入賞作品
(淡路市 澤井 心さん 4年生)



WEB



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

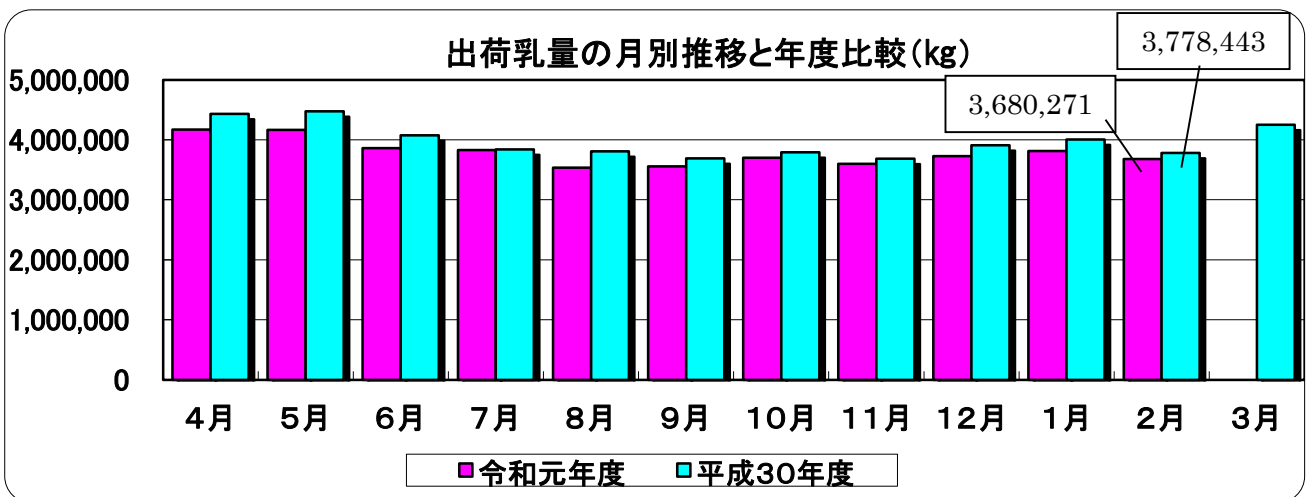
生乳生産量統計

1. 全国（令和2年1月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成31年 4月	622.8	99.9
令和 元年 5月	644.2	99.5
令和 元年 6月	618.9	99.7
令和 元年 7月	623.3	101.1
令和 元年 8月	595.6	98.2
令和 元年 9月	583.5	104.1
令和 元年10月	601.9	101.0
令和 元年11月	585.4	101.0
令和 元年12月	616.0	101.0
令和 2年 1月	624.9	101.4
令和 2年 2月		
令和 2年 3月		
令和 元年度累計	6116.4	100.7

2. 兵庫県酪農協取扱い分（公共施設を除く）

地 区	令和 2年2月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	577,624	97.2	6,759,791	95.7	24
播州地区	1,037,155	96.2	11,953,204	98.4	36
丹但地区	321,870	91.2	3,674,952	86.9	18
淡路地区	1,744,013	99.5	19,251,877	96.0	110
合 計	3,680,271	97.4	41,639,824	95.7	188



管内飼養頭数及び農家戸数の状況

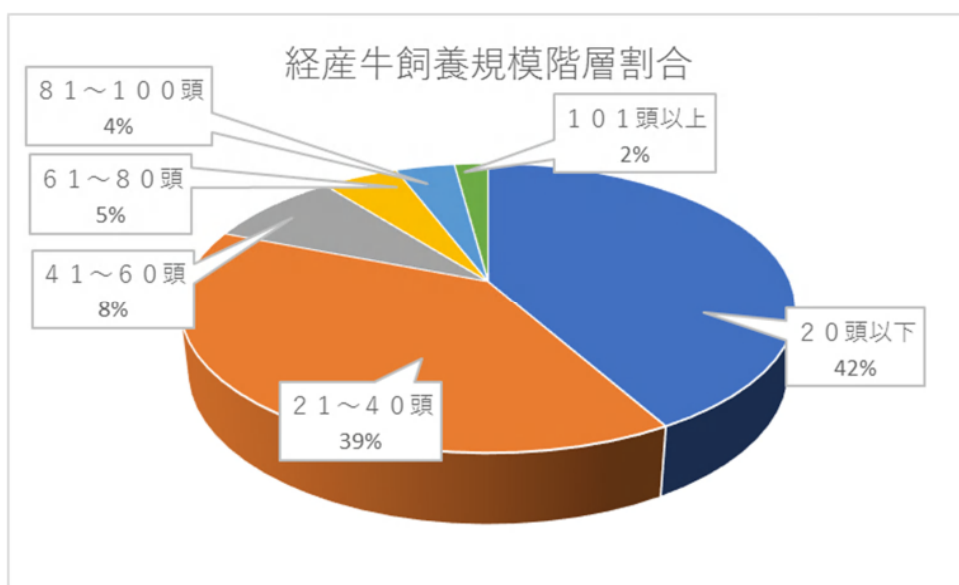
（令和2年2月1日現在）

飼養頭数

	経産牛			育成牛			乳用牛 合計	肥育牛	総合計
	搾乳牛	乾乳牛	小計	初妊牛	育成牛	小計			
阪神地域	834	113	947	134	346	480	1,427	10	1,437
播州地域	1,298	161	1,459	172	362	534	1,993	20	2,013
丹但地域	426	46	472	90	232	322	794	3	797
淡路地域	2,344	290	2,634	331	961	1,292	3,926	27	3,953
公共	50	10	60	20	38	58	118	2	120
合計	4,952	620	5,572	747	1,939	2,686	8,258	62	8,320
前回調査増減	39	-181	-142	-45	167	122	-20	-2	-22

経産牛飼養頭数階層別農家戸数

	阪神地域	播州地域	丹但地域	淡路地域	公共	合計
20頭以下	4	8	7	58	2	79
21～40頭	14	17	9	33	1	74
41～60頭	2	4	1	9	0	16
61～80頭	2	2	0	5	0	9
81～100頭	3	0	1	3	0	7
101頭以上	0	3	0	1	0	4
合計	25	34	18	109	3	189



再確認！



生産管理を見直し意識改革で事故防止！

「生乳の安心・安全」の確保に当たっては万全の管理のもと、日頃より生産・出荷をいただいていることと思いますが、残念ながら抗生物質などの異常乳混入によって乳業メーカーで受入されず廃棄される事故が後を絶ちません。

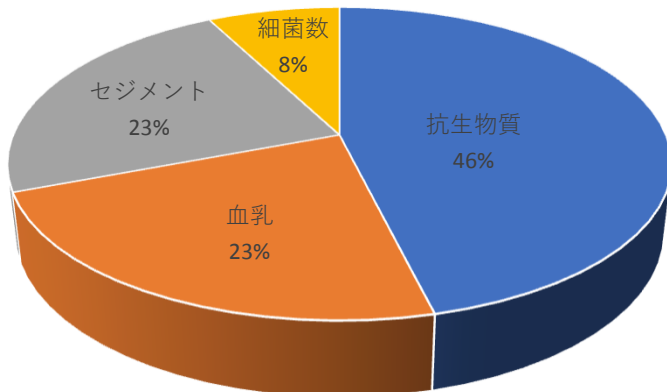
今年度（令和2年2月末現在）においては集乳車単位で廃棄に至った事故が16件（廃棄乳量36,792kg）、個人バルク単位で廃棄に至った事故が42件（廃棄乳量17,227kg）で、その合計乳量は54,019kgにもおよび大きな経済損失となっている事は言うまでも無く、取引乳業メーカーに対しては生乳の安心・安全の担保や安定供給の面においては信用に係る問題とも言えます。

事故の原因は様々ですが、少しの意識改革でその多くは防げるものばかりです。

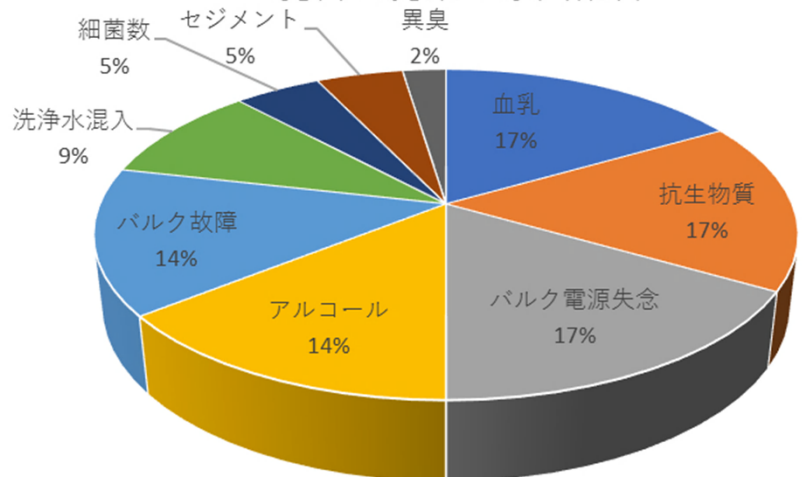
今一度、生乳は『食品』であり、それを出荷するに当たってはその安全を保障する義務があることを再認識し、良質な生乳生産を目指しましょう。

令和元年度における生乳廃棄事故の原因別割合

ローリー廃棄事故の原因割合



生乳自己廃棄の原因割合



令和2年2月末までの状況

○「たぶん、大丈夫」は絶対ダメ！

「治療後、○日経ってるからもう大丈夫・・・」、「間違っってミルカー装着しちゃったけど、すぐ外したから・・・」
事故の後によく聞く言葉です。

出荷基準の自己判断は大変危険です。新規分娩牛や治療後、出荷を再開する前には必ず出荷する乳業メーカーへ個体検査を依頼して下さい。

また、生乳の出荷前に「ちょっとアレ、気になるんだけどな～」と少しでも感じた時には迷わず出荷を取り止めて確認検査を受けてください。

○機械任せ、自動運転の過信は禁物！

機器の自動洗浄を過信していませんか？

バルククーラーや搾乳機器の多くは自動洗浄機能が備わっていますが定期的な点検や整備を怠ると洗浄不良による思わぬ細菌数の増加などによって廃棄事故に繋がることがあります。

機器の洗浄は機械任せにせず、定期的な分解洗浄や洗浄水量や温度の確認、洗剤使用量の確認を行うよう心がけましょう。

また、搾乳機器のホースやゴム部品の劣化によって剥がれ落ちた異物が生乳に混入し受乳拒否となるケースも見受けられます。

ライナーゴムやミルクホースは勿論、日常見落としがちなミルク配管やレシーバージャーなどのゴムパッキンなどについても定期的に交換するようにしましょう。

○生産管理チェックシートの記帳・記録は、その都度確実に！

生乳の生産管理に係る記帳・記録を適切に行う事は事故を未然に防ぐためにも大変重要です。乳牛の治療記録（動物用医薬品の使用記録）や出荷前検査の判定結果、機器の整備記録、消耗品の交換の記録などをその都度しっかり行うことで安全に対する意識の向上にも繋がります。チェックシートへの記帳は後でまとめて行うのではなく毎日確実にいきましょう！

○主な行事予定

（3月）

16日 淡路地区推薦委員選出会議

17日 全国酪農協会理事会

18日 兵庫県「トライやる・ウィーク」推進協議会

19日 播州地区推薦委員選出会議

23日 日本ホルスタイン登録協会理事会

23日 内部管理職会議

24日 阪神地区推薦委員選出会議

25日 兵庫県農業会議理事会

26日 近畿生乳販連理事会・臨時総会

淡路島牧場牛舎落成記念式典

牛群検定全国協議会

27日 理事会

30日 淡路花博20周年記念事業実行委員会

31日 棚卸監査

（4月）

1日 内部職員会議

令和2年度乳代金送金日のお知らせ

4月（3月分）	4月20日（月）	10月（9月分）	10月20日（火）
5月（4月分）	5月20日（水）	11月（10月分）	11月20日（金）
6月（5月分）	6月22日（月）	12月（11月分）	12月21日（月）
7月（6月分）	7月20日（月）	1月（12月分）	1月20日（水）
8月（7月分）	8月20日（木）	2月（1月分）	2月22日（月）
9月（8月分）	9月23日（水）	3月（2月分）	3月22日（月）

乳牛に不足しがちなアミノ酸について

全国酪農業協同組合連合会 瀧澤雅樹

1、牛に必要なアミノ酸

たんぱく質はアミノ酸が結合して出来たものです。たんぱく質を構成するアミノ酸の種類は20種あり、体内で生成されるたんぱく質の種類は、アミノ酸の組み合わせによって決定されます。そのため、飼料中に多量のアミノ酸があっても、乳たんぱく生成に必要なアミノ酸が十分量供給されていない場合、良質な生乳を生産することが難しくなります。

乳たんぱくの生成に必要なアミノ酸の中で特に不足しやすいアミノ酸を「制限アミノ酸」と呼び、その中でも最も不足しやすいのは「リジン」と「メチオニン」です。飼料設計を行う上で粗たんぱく（Crude Protein = CP）を充足させても、リジンやメチオニンを含めたアミノ酸バランスが取れていなければ、乳量・乳質の低下が懸念されます。泌乳期のリジン対メチオニンの理想比率は3.1：1です。言い換えると、飼料中の代謝エネルギー（ME）1Mcalあたり、リジンが3.0g-3.1g、メチオニンが1.0g-1.1gとなります。

2、アミノ酸の生成、消化と吸収

牛が小腸から体内に吸収するアミノ酸は、3つの由来から成ります。

（1）微生物たんぱく

牛が飼料から摂取したたんぱく質の多くはルーメン内で微生物によってアミノ酸へと分解され、他のたんぱく質へと転換されたり、微生物自身の増殖に利用されたりします。その他にも微生物は、ルーメン中の窒素と炭水化物を組み合わせ、新しくアミノ酸を合成したりもします。また、下部消化管へと流入するルーメン液に含まれる微生物は、第四胃や小腸にて胃酸や酵素によって消化され、アミノ酸として腸の絨毛から吸収されます（微生物たんぱく・菌体たんぱく）。微生物たんぱくはアミノ酸組成が筋肉や乳たんぱくに近いため、良質なたんぱく源となります。

（2）ルーメン非分解性たんぱく（バイパスたんぱく；RUP=Rumen Undegradable Protein）

ルーメン内で微生物によって分解されない（できない）たんぱく質は、ルーメンを通過し、第四胃・小腸にて消化・吸収されます。RUPには構造上、消化吸収されづらいものもあります。

（3）内因性たんぱく質

内因性のたんぱく質も、少量ですがアミノ酸源となります。生体内で分泌される消化酵素や粘液、代謝によって新生細胞と入れ替わり脱落した消化管の上皮細胞は、菌体たんぱくと同様に、下部消化管からアミノ酸として消化吸収されます。

上記の3つのたんぱく源から効率よく、かつ、バランスの取れたアミノ酸を吸収する為には、乾物摂取量を充足させ、微生物たんぱくを利用させることが最も有効です。

3、アミノ酸バランスを保ち、良質な生乳生産をするには…

(=微生物たんぱくを増やすには…)

① 乾物摂取量の充足

上記の通り、制限アミノ酸の効率的な消化吸収にはルーメン微生物の増殖が大きく影響します。そのためには乾物摂取量を充足させることが求められます。

② アミノ酸飼料の給与

暑熱ストレス下や産褥期などの乾物摂取量の充足が望めない時期や、泌乳ピーク時のたんぱく要求量が乾物摂取量だけでは補えない場合には、アミノ酸飼料を利用することも検討して下さい。

4、「アミノサプリL」のご紹介（全酪連製品）

アミノサプリLはアミノ酸の中でも不足しがちな「リジン」と「メチオニン」をバランスよく配合し、効率よくアミノ酸バランスを整えます。高油脂原料は処方されていない為、乾乳後期～泌乳初期から給与も可能です。

【特徴】

- ・バイパス力強化！ ⇒ 下部消化管で効率よく消化吸収される
- ・高油脂原料を使用していない！ ⇒ 乾乳後期や産褥期の代謝たんぱくの充足にも使える
- ・マッシュ製品！ ⇒ 分離・TMR 給与の両方に対応可能
- ・アミノ酸バランスに特化 ⇒ 制限アミノ酸の有効利用へ

※ご用命はく全酪連大阪支所 近畿事務所へお問い合わせください。
(TEL 0794-62-5441)



※アミノサプリL

淡路家畜市場情報

令和2年2月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	19	202,226	265,100	149,600			55
前回	17	208,094		261,800	139,700			58	-5,868	-2.8%	
前年	20	285,660		318,600	221,400			56	-83,434	-29.2%	
オス	今回	117	237,471	330,000	78,100			55			
	前回	13	229,054	317,900	124,300			56	8,417	3.7%	
	前年	22	306,327	357,480	168,480			55	-68,856	-22.5%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年	3	18,000		42,120	2,160			42	-18,000	-100.0%	
オス	今回	12	86,533	108,900	1,100			53			
	前回	8	70,950	85,800	47,300			53	15,583	22.0%	
	前年	18	60,120	111,240	1,080			48	26,413	43.9%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和2年1月25日・前年は平成31年2月9日

令和2年2月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	26	163,265	237,600	9,900			55
前回	19	202,226		265,100	149,600			55	-38,961	-19.3%	
前年	21	248,040		327,240	55,080			57	-84,775	-34.2%	
オス	今回	18	216,578	320,100	14,300			57			
	前回	117	237,471	330,000	78,100			55	-20,893	-8.8%	
	前年	21	304,509	361,800	200,880			55	-87,931	-28.9%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	11	47,500	6,000	3,300			54			
	前回	12	86,533	108,900	1,100			53	-39,033	-45.1%	
	前年	20	80,460	116,640	21,600			52	-32,960	-41.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和2年2月9日・前年は平成31年2月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
29年次	92,552	987	102,384	1,786	83,819	313	109,647	110,536	
30年次	114,925	931	128,634	1,548	104,980	265	135,573	106,027	
元年次	70,885	965	98,240	1,509	259,810	324	74,068	101,375	
元	1	96,634	84	91,423	129	82,370	41	103,499	7,937
	2	83,372	97	107,560	108	63,720	34	117,485	7,562
	3	115,483	56	132,371	145	102,376	29	138,663	8,229
	4	143,383	84	146,149	124	150,048	15	145,203	8,497
	5	151,684	58	164,849	91	141,210	16	141,762	7,937
	6	150,840	45	170,586	80	140,498	11	141,101	7,293
	7	141,452	76	151,626	114	148,163	16	134,807	9,403
	8	104,232	88	122,523	172	87,246	37	109,114	9,293
	9	91,330	85	95,559	127	67,068	20	103,513	8,950
	10	82,040	122	75,136	167	65,511	36	94,142	9,866
	11	84,258	87	85,333	132	82,847	38	104,394	8,138
	12	88,066	83	85,149	120	67,384	31	104,367	8,270
2	1	72,711	79	88,802	107	78,414	35	99,312	8,429
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
29年次	266,574	3,424	261,231	5,066	310,015	2,848	260,017	156,761	
30年次	265,098	3,642	265,355	4,560	306,156	2,420	257,799	150,900	
元年次	231,312	4,603	315,474	4,355	417,230	1,764	212,359	150,447	
元	1	271,973	278	281,940	378	331,981	113	260,053	12,131
	2	273,423	374	289,143	353	331,340	157	270,756	11,986
	3	296,616	357	314,143	348	356,184	160	294,041	11,958
	4	335,816	322	351,428	314	370,145	161	319,085	12,054
	5	361,670	315	368,655	349	393,614	153	325,752	11,875
	6	380,866	248	373,227	298	409,417	111	321,745	10,430
	7	367,992	409	373,248	280	419,466	109	322,123	12,229
	8	325,819	408	311,976	451	377,289	129	281,821	12,799
	9	273,749	488	247,863	400	305,611	147	257,885	13,184
	10	252,165	457	242,155	425	294,762	147	240,944	14,517
	11	258,193	444	236,865	371	283,248	211	233,550	13,315
	12	261,363	503	242,522	388	292,567	166	232,958	13,969
2	1	255,373	517	251,538	374	288,876	218	220,601	14,628
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

北海道産牛価格情勢

(令和2年3月版)

ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

令和2年2月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
ホクレン十勝市場	5日	831,000円	968,000円	-137,000	85.8%
ホクレン根室市場	6日	835,000円	938,000円	-103,000	89.0%
ホクレン南北海道市場	7日	712,000円	853,000円	-141,000	83.5%
ホクレン豊富市場	13日	827,000円	968,000円	-141,000	85.4%
ホクレン釧路市場	18日	770,000円	904,000円	-134,000	85.2%
ホクレン十勝市場	19日	821,000円	963,000円	-142,000	85.3%
ホクレン北見市場	20日	832,000円	958,000円	-126,000	86.8%
ホクレン根室市場	27日	882,000円	966,000円	-84,000	91.3%
平均		826,000円	951,000円	-125,000	86.9%

3月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン十勝市場	4日	831,000円	976,000円
ホクレン南北海道市場	6日	712,000円	805,000円
ホクレン豊富市場	13日	827,000円	926,000円
ホクレン根室市場	16日	835,000円	903,000円
ホクレン釧路市場	17日	770,000円	890,000円
ホクレン北見市場	18日	832,000円	940,000円
ホクレン十勝市場	19日	832,000円	913,000円
平均		826,000円	923,000円

4月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン南北海道市場	3日	885,000円
ホクレン十勝市場	8日	917,000円
ホクレン根室市場	9日	913,000円
ホクレン釧路市場	10日	880,000円
ホクレン豊富市場	17日	906,000円
ホクレン十勝市場	22日	930,000円
ホクレン北見市場	23日	938,000円
平均		913,000円

兵庫県酪農協 指導購買課

北海道乳牛産地情報

(令和2年3月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	4.0～4.7	横這い	札幌管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で106.2%、累計で100.0%、苫小牧管内月計で102.8%、累計で99.2%の実績となっております。
	初妊牛	7.7～8.7	横這い	3月の初妊牛動向といたしまして、5月～6月分分娩が中心となります。2月の管内乳牛市場は前回より頭数が少なく、価格も軟調な動きでしたが、庭先購買での中クラス以上の初妊牛は2月同様77～87万円の価格となったと思われ、また、他の地域と同様、初産牛の高止まりにより、経産牛を求め動きも強くなっております。初妊牛・経産牛の資源頭数は他の地域と比べますと少ないですが、優良な成績付きのものも出てくる地域ですので、ご希望がございましたらお問い合わせをお願いします。
	経産牛	5.2～6.2	やや強含み	根拠管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.4%、累計で100.7%、中標津管内月計で104.5%、累計で103.1%の実績となっております。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	4.0～5.0	横這い	3月の初妊牛動向といたしまして、5月～6月上旬分娩が中心で動くものと思われ、資源についてはF1腹・雌雄選別腹ともに十分に確保できるものと思われ、2月管内乳牛市場はやや弱含みといった相場展開を見せましたが、上クラスの牛は高値で取り引きされているため、庭先購買での牛も2月並みの価格を維持するものと思われ、初妊牛の高値につられ、経産牛も程度の良い産歴の少ないものは、2月並みの高値で取り引きされるものと思われ、帯広管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.6%、累計で103.5%の実績となっております。
	初妊牛	7.5～8.5	横這い	3月の初妊牛動向といたしまして、5月～6月分分娩が中心となります。十勝管内の乳牛市場は年明けより高値が続いており、庭先購買価格も同様にも増加傾向にあるため、F1腹・雌雄選別腹ともに十分に確保できるものと思われ、初妊牛価格の高止まりにより、即戦力となる経産牛を求め動きも強くなっております。産歴の少ない経産牛は高値で取り引きされており、3月の庭先購買価格も堅調に推移するものと思われ、道北管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で103.8%、累計で100.7%、北見管内では月計で101.3%、累計で101.2%の実績となっております。
	経産牛	5.0～6.0	横這い	3月の初妊牛動向といたしまして、5月中旬～6月分分娩が中心で動くものと思われ、資源頭数については、前年同程度と予想されるものの、道内需要も堅調に維持されており、F1腹・雌雄選別腹ともに引き合いが強いです。そのため3月の庭先購買価格もやや強含みで動くものと思われ、産次数の若い経産牛の引き合いが強く、価格はやや強含みで推移すると思われ、春分産可能な育成牛の需要も堅調なため、ご希望の際はお早目のご連絡をお願いします。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	4.3～5.0	横這い	道内の2月中旬までの生乳生産量前年比は103.3%、累計で102.2%の実績となっております。
	初妊牛	7.7～8.7	横這い	3月の初妊牛動向といたしまして、5月～6月分分娩が中心となり、道内外の大型農家の初妊牛導入が継続される中、市場相場も堅調に推移しており、弊会庭先相場についても70万後半から80万円台で推移していくものと予想されます。資源については、各地域とも例年並みからそれ以上と予想され、十分確保出来るものと思われ、特に、ホルスタイン腹については、導入しやすい状況となっております。今後、導入予定がございましたら、ぜひご相談・ご注文を宜しくお願い致します。引き続き、庭先選畜購買を中心に安定した搾乳素牛を供給して参りますので宜しくお願い致します。
	経産牛	5.5～6.5	やや強含み	
道北管内	育成牛(10-12月令)	4.0～5.0	横這い	
	初妊牛	7.8～8.8	やや強含み	
	経産牛	5.0～6.0	やや強含み	
道内総括	育成牛(10-12月令)	4.3～5.3	横這い	
	初妊牛	7.7～8.7	横這い	
	経産牛	5.0～6.0	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
011-241-0765

《各事務所電話番号》
釧路事務所 0154)52-1232
根室駐在員事務所 0153)76-1877
帯広事務所 0155)37-6051
道北事務所 0165)42-2368

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいたけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

コロナウィルスの影響で北米西海岸からアジア向けのコンテナ船においては、遅延や予約した船腹のキャンセルが増えています。

一部船社情報によると、すでに70隻を超えるアジア発の船がキャンセルされているそうです。北米西海岸出しの本船はアジア発の船の帰り荷がほとんどであるため、アジア発の船のキャンセルが多くなると、北米西海岸出しの船腹・空コンテナの供給に大きな影響が出ると考えられ、実際 PNW では影響が出始めています。中国発の本船がキャンセルになりシアトルの一部のターミナルでは本船が来ないため閉鎖する日が出ています。PNW は通常中西部から回送された空コンテナを輸出用コンテナとして活用していますが、中西部向けの輸入が減少している影響で PNW での空コンテナ供給の不安も聞かれるようになっていきます。

また通常よりも北米西海岸出しのサービス少なくなっていることから、運行を続けているサービスに需要が集中し船腹タイトになっているため、実施予定日は船社により異なりますが、3月からの北米西海岸出しアジア向けのサービスに対し GRI（海上運賃一斉値上げ）の通知が出されています。GRI の動向には引き続き注視が必要です。

ビートパルプ

【米国】

前号でお伝えの通り2019年産のビートは、秋口からの悪天候の影響で、生育不良や収穫作業を断念する圃場が多く発生しました。これらの減少分をビートパルプの発生量で換算すると、例年に比べ生産量は約13万トン減少するとも言われております。

この生産量減少により、すでに3工場ではビートの製造を終えています。全体的に見ても今年は昨年よりも1-2か月早いペースで各工場製造を終える予定で、4月下旬にはすべての工場では製造を終える見込みとなっています。

アルファルファ

ワシントン州

ワシントン州では、2019年産の上級品の発生が限定的で供給力が限られています。

当地では降雪の影響もあり、在庫品への水濡れ等のダメージも発生しており、供給力が限られている中、在庫の更なる欠減が心配されています。

オレゴン州

オレゴン州では、産地情勢に大きな変化はありません。荷動きも相場も安定的です。クラマスフォールズでは、冬季の降雪が少なく一部の生産者では2020年産の栽培に向け除草作業を開始しています。

カリフォルニア州

南部のインペリアルバレーでは最高気温が25℃程度の気候が続いており、生産スケジュールの早い生産者は2020年産の1番刈の収穫を開始しています。ベーリングされたアルファルファも見られており、今後収穫が本格的化します。他方でこの時期収穫されたアルファルファの多くはまだ水分が不安定なため、主に米国内需向けに出荷され輸出向けは限定的です。

中国は旧正月前に十分に在庫を持っておらず、現在も在庫水準は低いと言われており、アルファルファに対する需要は強いようです。インペリアルバレーでは旧穀である2019年産アルファルファの在庫（特にプレミアム品）が少ないため、輸出向けの新穀発生とともに旺盛な買い付けが開始されることが予想されます。



（インペリアルバレー産1番刈アルファルファ：3月上旬撮影）

米国産チモシー

農林水産省植物防疫所発表の2019年1-12月までに日本に輸入された米国産チモシーの数量は前年比およそ50,000トン増の349,665トンとなっています。

これは年始から余剰感があつた 2018 年産低級品の値下げが行われたこと、2019 年産が豊作となり全体的に大きく価格が下がったことで日本での需要が増えたと考察しています。

在庫については 2019 年産の上級品については多くが成約済みで、米国産チモシーに対する需要は堅調ですが、前述の通り 2019 年産は価格が総じて軟化したため、生産農家は取引価格に満足しておらず、すでにチモシーから収益性の高い他の換金作物への転作が始まっており、2020 年産のチモシーの作付面積は減少すると予測されています。

米国産チモシー	1-12 月計	前年対比
2013 年	368,805 トン	N/A
2014 年	282,504 トン	76.6%
2015 年	279,878 トン	99.1%
2016 年	322,916 トン	115.4%
2017 年	333,354 トン	103.2%
2018 年	297,968 トン	89.4%
2019 年	349,665 トン	117.3%

(出典：植物検疫統計データ 米国産チモシー年別輸入数量)

スーダングラス

2 月 15 日付のエーカーレージレポートによると、早播きスーダンの競合作物となるデュラム小麦の作付面積は昨年同期比 2, 337 エーカー多い 9, 660 エーカーとなっていますが、デュラム小麦の在庫率は多く、相場も低調なため輪作の一環として植えられている面積が増えたという見方が多く 2020 年産のスーダンの作付面積には大きな影響はなさそうです。スーダン種子価格は昨年より下がっていますが、生産者は昨年のスーダン価格に満足しておらず、2020 年産への作付け意欲は高くないため、時期尚早ではありますが、2020 年産は昨年規模の作付面積になるのではといわれています。

クレイングラス (クレインは全酪連の登録商標です)

2 月 15 日付のエーカーレージレポートによりますと、クレイングラスの作付面積は前年比 1, 992 エーカー増の 22, 205 エーカーとなっています。スーダンと異なり、ここ数年相場が安定していたため生産者の作付け意欲は強いものとなっています。順調に生育すれば、新穀の収穫作業は 4 月末から 5 月上旬から開始される見込みです。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

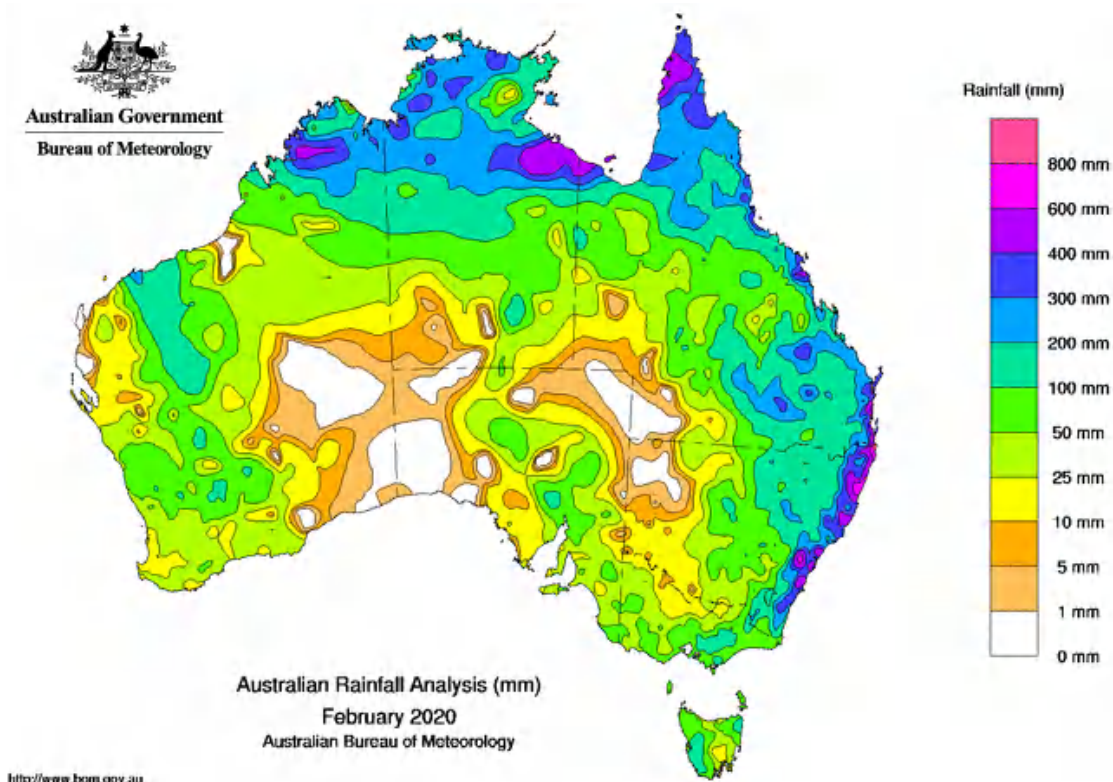
2月11日にUSDAから2020年産フェスキューとライグラスの作付見込面積が発表になりました。今年のアニュアル種のライグラスは昨年比9,000エーカー少ない113,000エーカー、ペレニアル種は昨年同様の60,000エーカーとなっています。フェスキューは昨年比7,000エーカー多い156,000エーカーとなる見込みです。

なお、ストローは種取後の副産物でありストローそのものの相場が悪いとそのまま圃場に鋤き込み生産調整されることがあるので、作付面積＝輸出用ストローの発生量とならないことは留意が必要です。

豪州産オーツハイ／ウィートストロー

豪州オーツハイとストローの需要は非常に強く、サプライヤーによると、3月は今年の中でオーダー数が一番多い状況で工場もフル稼働の様です。

自然火災の影響を受けていた東部州は2月上旬よりまとまった降雨あり自然火災が終息しました。この降雨はタイミングが良く放牧草の生育が進み、国内需要の逼迫感は緩和され始めています。



(2020年2月の豪州における降水量(オーストラリア気象局HPより引用))

豪州コンテナ船情勢

豪州航路でもコロナウィルスの影響が出始めています。具体的には、乗務員へのコロナウィルス対策のため中国豪州間の本船では中国出航から14日以内に豪州の港へ到着しないように本船の航海スピードを通常より遅らせ運行しています。この影響で予定していた日程に豪州から出港することができず、予約していた中国から日本向けへのフィーダー船の接続に間に合わなくなり一部の貨物で遅延が発生しています。また中国発の輸出貨物の減少で本船運行が取りやめになっているサービスもあり、北米同様、継続運行している本船スペースに需要が集まり、ブッキングが取りづらい状況にもなっています。

空コンテナについては現状まだ十分に供給されていますが、豪州への輸入が低下し続けた場合、将来的に問題になっていく可能性があります。また今回のコロナウィルスによる船会社への多大な影響により、一部の損失を取り戻すために船運賃値上げの可能性があり、今後の船会社の動向に注視が必要です。

以上



乳用牛改良情報



兵庫県酪農業協同組合
生産指導部 指導購買課

《2020-2》

【国内精液評価成績】

総合指数順 (N T P)

NTP 順位	略号	種雄牛名号	寿命産乳効果 (円)	乳代効果 (円)	総合指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定育種値)						体型のEBV				体細胞 数/100 ml	血統情報 父牛 × 母系祖父	管理形質		性別別 特徴	
						M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体細胞 特徴	肢蹄	乳房 特徴			乳房 産乳性	決定係数		胎子 数/100 母牛
	1	JP3H56732	137,048	137,048	3,028	1,242	70	0.21	126	0.11	58	0.17	0.56	0.19	1.13	1.61	1.18	8	100	1.45	◎
New	2	JP3H57288	94,125	104,735	3,024	735	60	0.36	94	0.43	54	0.33	0.43	0.32	0.49	1.20	0.90	6	102	0.78	
	3	JP3H55953	93,018	143,518	2,867	1,302	62	0.11	137	0.22	54	0.11	0.38	-0.01	0.27	1.47	0.84	8	101	1.71	◎
	4	JP3H57071	106,029	116,711	2,830	1,028	56	0.17	108	0.18	51	0.18	-0.09	0.07	-0.13	1.16	0.60	7	101	1.24	◎
New	5	JP3H57255	69,425	184,805	2,805	2,011	41	-0.33	174	-0.01	61	-0.03	0.13	0.80	0.82	2.06	1.41	9	101	1.66	◎
	6	JP3H57091	81,937	63,347	2,794	317	71	0.64	44	0.19	35	0.27	0.26	1.22	1.34	0.84	0.95	5	101	0.06	◎
	7	JP3H55926	90,761	179,965	2,697	1,795	69	0.00	160	0.03	52	-0.05	0.07	-0.30	0.06	0.27	0.26	7	102	0.29	
New	8	JP3H57378	114,470	131,295	2,644	1,479	60	0.02	85	-0.39	38	-0.11	0.52	0.76	-0.12	1.26	0.96	6	103	-0.06	
	8	JP3H56556	66,673	126,845	2,644	1,222	52	0.04	113	0.08	52	0.12	-0.52	0.12	0.18	1.00	0.47	5	100	0.75	◎
	10	JP3H57077	47,687	106,615	2,642	932	55	0.20	97	0.14	47	0.17	0.91	0.37	1.37	1.45	1.30	5	100	0.65	◎
	11	JP3H56757	93,926	168,003	2,635	1,759	46	-0.20	148	0.04	46	-0.11	-0.06	0.49	0.36	1.40	0.76	9	101	2.03	◎
	12	JP0H56736	78,535	80,562	2,575	511	48	0.28	100	0.48	52	0.36	0.60	0.34	0.69	0.54	0.64	6	101	-0.74	
	13	JP3H56580	119,744	65,843	2,561	375	52	0.38	74	0.36	41	0.31	-0.41	0.50	-0.19	1.22	0.73	5	102	-0.36	◎
	14	JP5H57164	49,327	171,894	2,556	1,714	70	0.07	137	-0.04	44	-0.10	-0.81	0.29	0.81	0.57	0.39	6	100	2.05	◎
	15	JP3H56430	98,900	136,758	2,555	1,302	59	0.11	120	0.06	45	0.02	-0.30	0.92	0.07	0.54	0.36	6	101	1.06	◎
	16	JP5H55552	93,248	136,140	2,524	1,279	57	0.07	128	0.14	50	0.08	-0.28	0.35	0.07	0.41	0.32	7	101	2.62	◎
New	17	JP3H57282	71,453	143,663	2,523	1,561	33	-0.28	137	0.01	53	0.02	0.65	0.34	1.28	1.70	1.34	7	101	0.56	
	18	JP3H56985	95,146	76,291	2,509	496	50	0.32	73	0.37	42	0.27	0.91	0.51	0.86	1.25	1.20	5	102	0.82	◎
	19	JP5H57105	52,038	139,445	2,498	1,367	57	0.04	124	0.04	52	0.08	0.90	0.21	0.70	0.55	0.74	6	100	0.73	◎
	20	JP3H56991	84,636	161,067	2,492	1,680	45	-0.19	153	0.05	45	-0.10	1.05	0.95	1.07	0.83	1.19	7	101	1.98	
	21	JP3H55839	91,394	164,651	2,455	1,734	36	-0.28	163	0.10	53	-0.03	0.48	0.25	0.41	0.68	0.67	8	101	-1.03	◎
New	22	JP3H57298	51,634	84,367	2,454	633	48	0.26	87	0.28	41	0.22	0.16	0.49	0.72	1.81	1.02	7	100	1.33	
	23	JP3H56864	54,799	182,772	2,444	1,931	59	-0.15	156	-0.06	54	-0.09	0.25	0.06	0.24	-0.26	-0.01	5	101	-0.17	◎
	24	JP3H56735	55,474	133,954	2,441	1,203	69	0.21	113	0.13	44	0.05	-0.12	-0.06	0.92	0.75	0.37	6	101	0.31	◎
	25	JP4H56365	127,583	97,094	2,399	770	67	0.37	79	0.14	35	0.11	1.02	0.22	-0.25	0.76	0.74	6	103	1.14	
	26	JP4H55951	78,878	110,282	2,385	1,046	52	0.11	96	0.04	45	0.11	0.44	0.98	0.65	0.97	0.96	8	102	0.57	◎
	26	JP5H56465	63,445	85,429	2,385	624	88	0.65	44	-0.06	32	0.12	0.38	0.24	0.58	0.70	0.53	6	101	0.95	◎
	28	JP5H56304	68,664	124,686	2,383	1,140	57	0.14	121	0.13	40	0.03	0.39	0.18	0.90	0.85	0.68	6	100	1.36	◎
	29	JP4H56581	82,714	82,864	2,372	669	47	0.24	67	0.17	39	0.20	0.33	0.71	0.06	1.34	0.88	7	102	0.30	◎
	30	JP3H56191	61,880	111,962	2,361	985	59	0.22	100	0.12	43	0.11	1.51	0.60	1.03	0.97	1.15	6	100	1.69	

※新種牛は太字斜字で表記

【国内種雄牛の購買を希望される方は、毎月15日までご当組合まで注文願います】



糖蜜商品ラインナップ

EURO LIX® DAIRY 搾乳牛用

ユーロリックス デイリー

泌乳期をサポート

搾乳牛が必要とするミネラルや
ビタミンを提供します。



EURO LIX® RE 搾乳牛用

ユーロリックス RE

搾乳牛の
呼吸器をサポート

ユーカリとメントールオイル及び
アニス風味を配合し、そこに
ビタミンEとCを加えたことで
搾乳牛の呼吸器系を健康に保つ
助けとなります。



EURO LIX® DAIRY AI 搾乳牛用

ユーロリックス デイリー AI

泌乳期サポートに加え
ハエが嫌う成分配合

搾乳牛が必要とするミネラルや
ビタミンに加え、
ユーカリエッセンスを含有。
匂いによりハエが寄り付きません。



MELBUKET PLUS 搾乳牛用

メルバケット プラス

糖蜜配合飼料

糖蜜にリン、カルシウム及び
ビタミン、ミネラルを配合。



EURO LIX® HIGH YIELD 高泌乳牛用

ユーロリックス ハイイールド

高泌乳牛をサポート

ミネラルやビタミンに加え、亜鉛、
銅など有機ミネラル類を含有
することで高泌乳牛に必要な
エネルギーを補います。



EURO LIX® HIGH YIELD AI 高泌乳牛用

ユーロリックス ハイイールド AI

高泌乳牛サポートに加え
ハエが嫌う成分入り

高泌乳牛が必要とするミネラルや
ビタミンに加え、
ユーカリエッセンスを含有。
匂いによりハエが寄り付きません。



MELBUKET 搾乳牛用

メルバケット

純粋な糖蜜

飼料に混ぜたり、搾乳牛に
直接給与可能です。



西日本オリオン株式会社

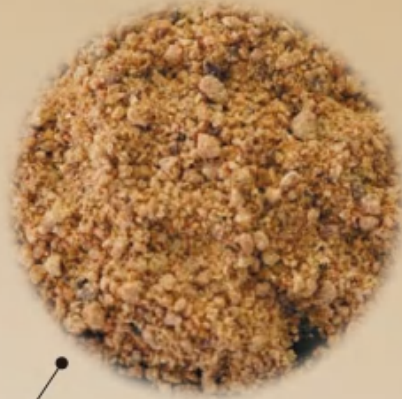
神戸市西区榎谷町福谷82

☎078-965-6470

兵庫サポートセンター



全酪連^{アミノ酸}AA体系
Amino Acids



SoyPLUS

安定した良質なルーメン・バイパス・リジン源!

乳牛のアミノ酸(AA)栄養を改善する



Methionine

ルーメン・バイパス・メチオニン源である「メチオニン水酸化体」を配合!



Lysine

新しく厳選されたバイパス・リジン製剤を配合!

アミノサプリL

乳牛のアミノ酸栄養を考えるには、まず乾物摂取量(DMI)の最大化によるルーメン・バクテリアの最大生産、次にルーメンバイバスタンパク質とそのアミノ酸バランスを考慮する必要があります。

そこで、全酪連は従来の「アミノサプリ マッシュ」を一新! AA(Amino Acids)体系をリニューアルしました!

泌乳ステージにおけるアミノ酸バランス補正による乳量改善が確認された「アミノサプリL」をぜひお試しください!

全酪連AA体系に関するお問い合わせは、全酪連担当者までお問合せ下さい。



Your Partner 全酪連

大阪支所 06(6305)4196

中四国事務所
0868(54)7469

近畿事務所
0794(62)5441

三次事務所
0824(68)2133

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。

